統行事「七草御印紋」が行われた。参拝者は梵字が彫られた印を額に当ててもらい、1年間の無病息災を祈った。例年は1日だけだが、今年は8、9日も行う。

七草御印紋は毎年1月7日に、成田山の本山と全国の各別院で行われている年始めの儀式。サンスクリット語で「七仏薬師如来」を意味する梵字が彫られた印を額に当ててもらい、無病息災を祈願する。

今年は、より多くの参拝者に受けてもらおうと、同別院では初めて7日以外にも行うことにした。来年も続けるかは未定。

参拝者は本堂で祈禱を済ませた後、僧侶の前で手を合わせ、額に印を当ててもらった。孫と訪れた小林哲大さん(33)は1年の健康を祈った。家族5人で訪れた南越前町の小林哲大さん(33)は「じっくり獅子舞を見たのは初めて。たくさんの人が獅子に入って舞うのは勇壮だった」と話していた。

8、9日はオリジナルの羽子板作りや懐かしい遊びのコーナー、ぜんざいの振る舞いなどがある。

(長谷川靖)

梵字が彫られた印を額に当ててもらい、1年間の無病息災を祈る参拝者＝7日、坂井市の成田山福井別院

剣道の基本 一流が指南

世界選手権個人V 網代さん(兵庫)

越前市で教室 小中生140人真剣

みんなで……読もう

剣道の世界選手権大会で個人優勝した経験を持つ網代忠勝・錬士6段＝兵庫県警＝を招いた剣道教室が7日、越前市武道館で開かれた。小・中学生約140人が参加し、基本練習の大切さを学んだ。

2018年の福井国体などに向けた越前市の競技力支援事業の一環で、委託を受けた市剣道連盟が開いた。市内外の児童生徒が集まり、午前中に小学生の部、午後に中学生の部を行った。

網代さんは15年の世界選手権大会で個人優勝。ほかにも全日本選手権大会3位、全国警察官大会個人優勝など好成績を収めている。

小学生の部では素振りや切り返し、打ち込みといった基本を指導。「竹刀を大きく振り、真っすぐ打って」「大きな声で」などのアドバイスに、児童たちは気持ちを引き締めて耳を傾けた。網代さんから直接手ほどきを受けた同市吉野小6年の平野裕也君は「緊張した。技を打ったときの声を大きくと教わった」と、興奮した様子で話していた。

練習後の講評で網代さんは「剣道は基本が一番大切。試合の勝ち負けは大事だが、基本をしっかり身に付ければ勝てる」とエールを送った。

(中坪佑香)

剣道教室で、子どもたちを指導する網代錬士6段(中央)＝7日、越前市武道館

ふくい地域ニュース

本県ゆかりの刀剣 愛好家収集品展示

敦賀市立博物館

南北朝時代から江戸時代までの本県ゆかりの刀剣などをそろえた「刀剣資料展～安田コレクションを中心に～」が、敦賀市立博物館で開催されている。市内の愛好家が集めた個性豊かな脇差しや剣が並んでいる＝写真。

2012年に亡くなった安田正弘さん＝敦賀市布田町＝の刀剣などが、同博物館に多く寄付されたことを受けて企画。市の所有する刀剣と合わせ、3月1日まで4期に分けて計約40点を展示する。

第1期は18日までで、江戸時代の作品を中心に10点を陳列している。藤原下坂が作った脇差しは、付属する小刀の柄部分が特徴的。魚やエビと一緒に、持ち主が後からつけたとされる、しゃれが刻まれて…

住んでいた…の刀工、康継や市指定文化…

19日から2…の第2期では…クションから…住金重」の刀…江戸時代に…治がいたこ…貴重な資料…同博物館は…士の魂〟と…情豊かな輝…る。展示をき…独特な世界に…れてほしい」…た。

福井市の福井会館茶苑で開かれた初釜が7日、越前町の県陶芸館茶苑で開かれた。招待客や会員ら約140人が新春の一服を堪能した＝写真。

県内の流派を超えた茶道愛好者ら約220人で構成する同会(師田一郎理事長)は1983年に発足。同茶苑での初釜が正月の恒例行事となっている。

大広間の茶席は裏千家の垣内トミ子さん(越前市)、茶室の茶席は表志子さん(…務めた。各…く訪れ、日…庭をめでな…味わった。参…えると、じっ…賞していた。